

簡易取扱説明書

取り扱い上の注意

- 操作は必ず本書に従ってください。
- インレットに強い力が加わらないように注意してください。特に付属の等速吸引プローブの取り付け/取り外しの際は十分に注意してください。
- 付属の等速吸引プローブを接続する場合は、「手でしっかりと」接続してください。レンチを使用するとインレットを破損する恐れがあります。
- インレットキャップ(吸入口の蓋)を付けた状態など、インレットをふさいだ状態で動作させないでください。センサ内の圧力変化により、故障や性能低下を引き起こす恐れがあります。
- 使用する前にコード、ケーブル、チューブの接続が正確かつ安全に行われていることを確認してください。コード、ケーブル、チューブには、折り曲げるなどの無理な力を加えないでください。コード、ケーブル、チューブを取り外す場合は、プラグ、コネクタ、チューブの先端を持って作業してください。
- 保管および使用に際しては次の点に注意してください。
 - ・ 所定の温湿度範囲(-10℃～50℃、90%RH以下)を外れる環境下では保管しないこと
 - ・ 所定の温湿度範囲(10℃～40℃、85%RH以下)を外れる環境下では使用しないこと
 - ・ 急激な温度変化により結露を生じる恐れのある場所で保管、もしくは使用しないこと
 - ・ 水やその他の液体がかかる恐れのある場所で保管、もしくは使用しないこと
 - ・ 直射日光が当たる場所で保管、もしくは使用しないこと
 - ・ 塩分、イオウ分などを含んだ空気、あるいは化学薬品、ガスなどにより悪影響を生じる恐れのある場所で保管、もしくは使用しないこと
 - ・ 機器に振動や衝撃が加わる恐れのある場所で保管、もしくは使用しないこと
- 本器は内蔵バッテリーにリチウムイオン電池を使用しています。バッテリーの発熱、破裂、発火を防止するため、次の点をお守りください。
 - ・ 本器を分解して、内蔵バッテリーを取り出さないでください。
 - ・ 火のそばや炎天下などでの充電はしないでください。
 - ・ 本器の輸送は当社が定めた方法で行ってください(取説 132 ページ参照)。
- 製造業者の指定した方法以外で機器を使用すると、機器に設けられた保護が損なわれる可能性があります。
- 本器に、反応性のガスを通さないでください。内部で爆発し、事故を起こす危険性があります。
- スタンドを使用している状態で、ボタン操作を行う場合は、必ず手を添えて行ってください。本器が倒れて思わぬ事故を招く恐れがあります。
- 本体を使用中、充電中、保管時に悪臭、発熱を感じたり、変色、変形その他異常に気がしたときにはすぐに使用を中止し、販売店または当社営業部まで連絡してください。
- 動作などに異常が発生した場合は、電源を遮断するために、本体から AC アダプタのコネクタを抜くか、電源コンセントから AC アダプタのプラグを抜いてください。
- タッチパネルディスプレイは指での操作が原則となっています。硬いもの、鋭利なものをあてたり、こすったりしないでください。表面が汚れた場合は、少量のエチルアルコールを含ませた脱脂綿あるいは柔らかい布などでふいてください(タッチパネルディスプレイ表面の材質は PET フィルムです)。
- 機器を分解、改造しないでください。
- 本器を火の中に投入したり、加熱しないでください。
- 本器をハンマでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
- 万一、故障した場合は手を加えずに故障状況を明示した上、販売店または当社サービス窓口(裏面右下)までご連絡ください。
- 点検、修理などで本器を当社に輸送する際は、振動や衝撃が加わらないように元の梱包箱を使用してください。
- 本器を廃棄する場合は、国および地方自治体の法律・条例に従ってください。本器にはバッテリーが内蔵されているため、一般のゴミとは分別する必要があります。

AC アダプタおよび電源コード取り扱い上の注意

- AC アダプタおよび電源コードに傷などがつかないようにしてください。発火、感電の原因になります。
- AC アダプタおよび電源コードを熱器具などに近づけないでください。被覆が溶けて発火、感電の原因になります。
- 必ず付属の AC アダプタ (KR-12-003) を使用してください。その他の AC アダプタを使用すると、動作不良や故障のみならず、思わぬ事故につながる可能性があります。プリンタなど別売品の AC アダプタと間違えないようにしてください。
- AC アダプタの差込プラグは本器の外部電源端子にしっかりと差し込んでください。
- AC アダプタは本器以外では使用しないでください。
- AC アダプタは屋外や高温、多湿な場所では使用しないでください。
- AC アダプタを落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- AC アダプタを分解、改造しないでください。
- AC アダプタを使用しないときは、本器の電源を切ってから、プラグを AC 電源から抜いてください。
- AC 電源に接続して使用する場合、AC アダプタおよび本体から若干の発熱が生じます。万一、異常に発熱した場合は、直ちに使用を中止し、AC 電源から取り外し販売店もしくは当社サービス窓口(裏面右下)までご連絡ください。
- AC アダプタに接続する電源コードは、本器を使用する国/地域の使用電圧、法令、電気的な安全規格に適合したものを用意してください。適切な電源コードについては、本器の販売店にお問い合わせください。(お客様のお手元に届くまでに、本器の販売店が、販売国/地域の規格に適合した電源コードを付属させている場合もあります)
 - ※注意：
 - 工場出荷時に本器に付属された AC アダプタに接続する電源コードは、日本の法令、電気的な安全規格に適合した、日本国内用の AC 100 V 対応のケーブルです。
 - 工場出荷時に本器に付属された日本国内用の電源コードを、日本以外または AC 100 V 以外の電圧で使用しないでください。使用した場合、当社は、機器の安全性を保証できません。
- 電源コードの接続に先立って、電源コンセントが「仕様」に記載された条件を満たすものであることを確認してください。
- 電源コードのプラグは、ほこりが付着したり汚れていると火災や感電の危険があります。ご使用前に乾いた布で清掃してください。
- 電源コードのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分ですと、火災や感電の危険があります。

バッテリーについての注意

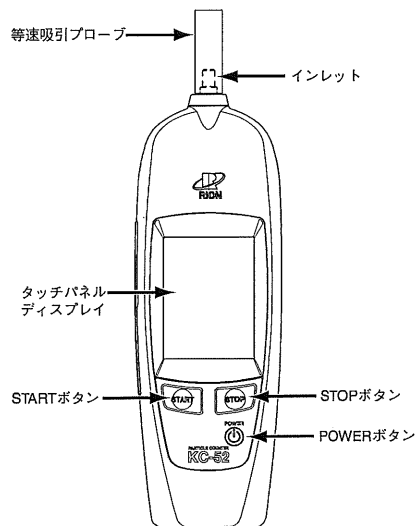
- 充電を行う場合、AC アダプタおよび本体から若干の発熱が生じます。万一、異常に発熱した場合は、直ちに使用を中止し、AC 電源から取り外し販売店もしくは当社サービス窓口(裏面右下)までご連絡ください。
- 充電は使用温度範囲(10～40℃)で行ってください。この範囲外では、電池の性能や寿命を低下させたり、発熱、破裂の原因となることがあります。なお、35℃を超える環境では、製品内部の安全回路が機能し、充電できない場合があります。
- 定められた方法で充電を行って、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止し、販売店もしくは当社サービス窓口(裏表紙参照)までご連絡ください。

測定対象となる気体について

- 本器は、ほぼ 1 気圧の空気中に浮遊する微粒子の粒径と個数を計測する目的で設計されています。下記のような気体を測定することは避けてください。正しい測定ができないばかりでなく、本器が破損したり思いがけない事故を起こすことがあります。
- ・ 爆発、発火などを生じ、あるいは人体に害を与える恐れのある気体
 - ・ 本器の構成材料を腐食、もしくは変質させる恐れのある気体
 - ・ ミスト、液滴、粗大粒子、繊維などの混じった気体
 - ・ 仕様に記載の最大定格粒子個数濃度を超過する大量の粒子を含んだ気体
 - ・ 大気圧と比較して加圧、もしくは減圧されている気体
 - ・ 温度、もしくは湿度が仕様に示した使用温湿度範囲を外れる気体
- 空気以外の気体中の粒子を測定するときは当社営業部または販売店にご相談ください。

各部の名称と機能

正面



インレット

試料空気の吸引口です。

STOP ボタン

手動測定モードで測定中に押すと、測定を停止します。

POWER ボタン

電源の投入、遮断を行います。

START ボタン

測定を開始します。測定中に押すと測定中のデータが破棄されて、新たな測定を開始します。

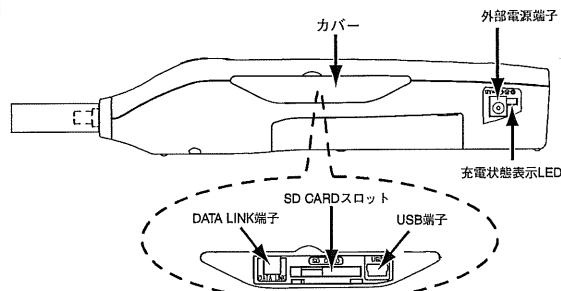
タッチパネルディスプレイ

測定条件の入力、測定結果の表示などを行います(取説 17 ページ参照)。タッチパネルディスプレイに直接触れることで、各画面のボタンなどを選択できます。

等速吸引プローブ

等速吸引を行うためのプローブです。インレットに取り付けてあります。

左側面



外部電源端子

付属の AC アダプタを接続します。

充電状態表示 LED

AC アダプタを接続して内蔵バッテリーを充電しているときの状態を示します。(取説 8 ページ参照)

DATALINK 端子

多点インタフェースを用いて、多点システムを構築する場合に使用します。

USB 端子

コンピュータと接続したり、別売の USB プリンタと接続する端子です。

充電

付属の AC アダプタ、電源コードを使用し AC 電源に接続すると、自動的に内蔵バッテリーへの充電が行われます。

充電状態表示 LED

AC アダプタ接続中の内蔵バッテリーの充電状態は、本体左側面の充電状態表示 LED で確認できます。

緑点灯：充電中、消灯：充電終了、赤点灯：充電中に異常発生

電源 OFF で充電する場合は、約 3 時間の充電で動作時間(新品時、常温環境下で繰り返し連続測定を無操作で行った場合)は約 3.5 時間です。

重要

充電量の不足により電源が自動で遮断された場合、充電は電源 OFF の状態でを行い、電池残量表示が 2 個以上になってから使用してください(取説 17 ページ参照)。

情報バーの詳細は取扱説明書の「設定」の章を参照してください。

設定項目一覧

設定項目		設定値
Date and Time	Date	yyyy-mm-dd (西暦年 - 月 - 日)
	Time	hh:mm:ss (時 : 分 : 秒)
Info	Serial Number	固定 (変更不可)
	Auto Print	ON、OFF (初期値)
Printer	Type	All (初期値)、Average
	Unit	Counts (初期値)、/L、/28.3L、/1000L
	Decimal Point	ON (初期値)、OFF
	Statistics	ON、OFF (初期値)
	Size	ON (初期値 : 全て ON)、OFF
Security	Password	ON、OFF (初期値)
Communication	I/O	Removable Disk (初期値)、Serial、Multi
	Send Mode	S0 (初期値)、S1
Display	Power Save	ON (初期値)、OFF
	Beep Sound	ON (初期値)、OFF
	Language	Japanese (初期値)、English

機器設定の例

- ・日付、時刻を 2011 年 4 月 1 日 12 時 34 分 56 秒に設定する場合
1. 測定画面で「メニュー」ボタンを押します。メニューバーが表示されます。
 2. メニューバーの「システム」ボタンを押します。機器設定画面 1/3 が表示されます。
 3. [Date]の項目のパラメータ部を押します。年月日入力画面が表示されます。
 4. [YEAR] (年) ボタンを押します。[YEAR] (年)の背景色が白から赤に変わります。
 5. [CLR] ボタンを押して数値を削除し、テンキーを使って年 (例: 2011) を入力します。入力値を削除する場合は [CLR] ボタンを押します。
 6. 手順 4~5 と同様に [MONTH] (月)、[DAY] (日) ボタンを押し、月 (例: 4)、日 (例: 1) を入力します。
 7. 入力終了したら、[ENT] ボタンを押します。[ENT] ボタンを押さないと入力確定しません。
 8. [BACK] ボタンを押します。機器設定画面に戻ります。
 9. [Time]の項目のパラメータ部を押します。時刻入力画面が表示されます。
 10. [HOUR] (時) ボタンを押します。[HOUR] (時)の背景色が白から赤に変わります。
 11. [CLR] ボタンを押して数値を削除し、テンキーを使って時 (例: 12) を入力します。入力値を削除する場合は [CLR] ボタンを押します。
 12. 手順 10~11 と同様に [MINUTE] (分)、[SECOND] (秒) ボタンを押し、分 (例: 34)、秒 (例: 56) を入力します。
 13. 入力終了したら、[ENT] ボタンを押します。[ENT] ボタンを押さないと入力確定しません。
 14. [BACK] ボタンを押します。機器設定画面に戻ります。
 15. 機器設定画面で [BACK] ボタンを押します。測定画面に戻ります。

USB ドライバのインストール

コンピュータと本器を付属の USB ケーブル (A-mini B) で接続し、専用の通信・制御プログラムを使用することで、本器のリモートコントロールや、測定データをコンピュータにリアルタイムで転送することが可能です。また、本器をリムーバブルディスクとして認識させることも可能です。USB 通信機能を利用するには、当社 WEB サイトより別途ドライバをダウンロードし、インストールする必要があります。ドライバをインストールすることで、仮想 COM ポートを作成します。

重 要

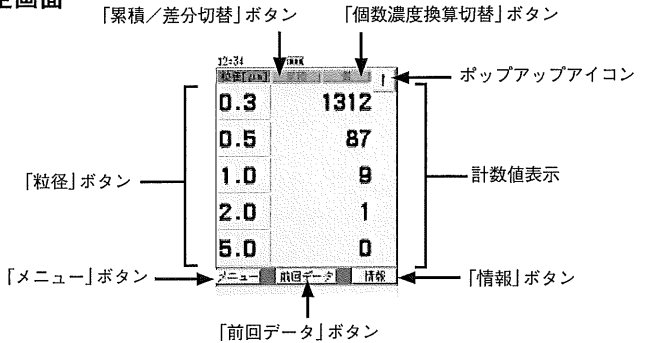
USB ドライバをインストールし、本器とコンピュータとの通信を確立後、コンピュータ上でデバイスの切断を行うと、本器で [I/O] (取説 47 ページ参照) の設定変更を行ってもコンピュータで認識されなくなります。USB ケーブルを一度抜いて、再度接続してください。

USB ドライバのインストール手順は取扱説明書を参照してください。

測定方法例 (測定モード体積で 2.83L の測定を 3 回行う場合)

1. POWER ボタンを 1 秒以上長押しし、本器の電源を入れます。
 2. 測定したい場所に本器を設置します。
 3. 測定画面で「メニュー」ボタンを押します。メニューバーが表示されます。
 4. メニューバーの「測定条件」ボタンを押します。測定条件設定画面 1/2 が表示されます。
 5. [測定モード]の項目のパラメータ部を押し、「体積」を選択します。
 6. [体積]の項目のパラメータ部右端の▼ボタンを押します。体積選択画面が表示されます。
 7. 測定する体積 (例: 2.83L) を選択します。[体積] が 2.83L に設定され、測定条件設定画面に戻ります。
 8. [平均]の項目のパラメータ部を押します。数値入力画面が表示されます。
 9. [CLR] ボタンを押して数値を削除し、テンキーを使って平均 (平均値測定) の回数 (例: 3) を入力します。
 10. 入力終了したら、[ENT] ボタンを押します。
 11. [BACK] ボタンを押します。測定条件設定画面に戻ります。
 12. 測定条件設定画面で「戻る」ボタンを押します。測定画面に戻ります。
 13. START ボタンを押して測定を開始します。
- 測定は設定した測定条件で自動的に行われます。
測定された計数値はタッチパネルディスプレイにリアルタイムで表示されます。

測定画面



「個数濃度換算切替」ボタン

「個数濃度換算切替」ボタンを押すごとに、個数濃度 (所定の試料流量あたりの計数値) に換算した値が次の順で切り替え表示されます。
個 (換算なし) → /L → /28.3L → /1000L → 個 (換算なし)
値は測定中も表示され、/L、/28.3L、/1000L を表示している場合は、1 秒ごとに 6 回移動平均され換算表示されます。

「累積/差分切替」ボタン

「累積/差分切替」ボタンを押すごとに、計数値が累積値と差分値に交互に切り替わります (全粒径表示時)。累積値は粒径区分以上の計数値が、差分値は粒径区分間の計数値が表示されます。

測定画面の詳細は取扱説明書の「測定」の章の「測定画面」を参照してください。

測定の中止

自動測定中に STOP ボタンを押すと、STOP セレクト画面が表示されます。「中止」ボタンを押すと、測定を中止します。「継続」ボタンを押すと、測定を継続します。

エラーメッセージとエラー状態との関係

測定中に発生したエラーに対するエラーメッセージとエラー状態の関係は下表のようになります。
エラー状態が「Information」のメッセージは「電池残量低下」を除き、測定データファイル、プリントアウトでのみ表示されます。

メッセージ	状態	発生条件
ブートエラー (BOOT ERROR)	Protected	起動時に回路の異常が発生した場合
ポンプ異常 (PUMP FAIL)	Protected	ポンプが異常またはポンプ温度が異常の場合
測定継続不能 (STOPPED MEAS.)	Protected	測定時、本器内部に異常が発生した場合
光源出力異常 (LASER FAIL)	Warning	光源の出力が規定レベルより下がっている場合
流量エラー (FLOW ERROR)	Warning	試料空気流量が定格の±5%を超えている場合
電池残量低下 (LOW BATT.)	Information	内蔵バッテリーの充電量が少なくなっている場合
LASER LIFE	Information	光源の寿命が近い場合
HIGH CONCE.	Information	粒子個数濃度が最大粒子個数濃度 (140,000,000 個 /m³) を超えた場合
FLOW ALERT	Information	試料空気流量が定格の-3%~-5%または+3%~+5%の範囲にある場合

エラー発生時の対処については取扱説明書 133 ページ以降の「トラブルシューティング」を参照してください。

データの保存と表示

測定結果とその測定時の測定条件は内部メモリに約 5000 回分が自動的に保存されます。

過去データの表示方法

保存された過去データを表示するには、測定画面で次の操作を行ってください。

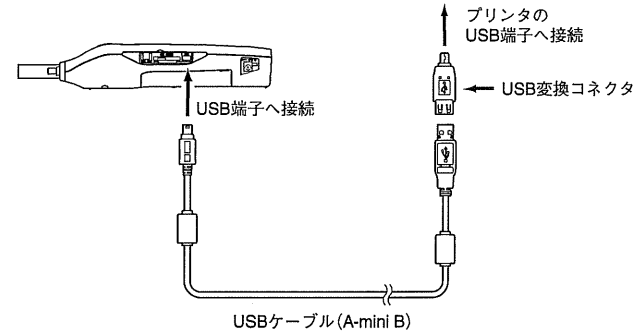
1. 測定画面で「メニュー」ボタンを押します。
メニューバーが表示されます。
2. メニューバー内の「リスト」ボタンを押します。
フォルダ選択画面が表示されます。フォルダ選択画面には測定した西暦年月日の一覧が表示されています。
表示させたいデータの西暦年月日が画面に表示されていない場合は、「<<」,「>>」ボタンを押して、表示させたいデータの西暦年月日を画面に表示させます。「戻る」ボタンを押すと、測定画面に戻ります。
3. 表示したいデータを測定した西暦年月日を選択します。
ファイル選択画面が表示されます。ファイル選択画面には測定データファイルの一覧が表示されます。
表示させたいデータファイルが画面に表示されていない場合は、「<<」,「>>」ボタンを押して、表示させたいデータファイルを画面に表示させます。「戻る」ボタンを押すと、フォルダ選択画面に戻ります。
4. 表示したいデータファイルを選択します。
ファイルに保存されている過去データ表示画面が表示されます。「START」ボタンを押すと、測定画面に戻り、測定を開始します。「STOP」ボタンを押すと、測定画面に戻ります。
メニューバー内の「戻る」ボタンを押すと、ファイル選択画面に戻ります。
5. 過去データ表示画面上の「▲」、「▼」ボタンを押すと、ファイル内の過去データ表示画面が閲覧できます。
6. 測定時の測定条件を確認したい場合は、「情報」ボタンを押します。

ノート
保存データ量がメモリ容量を超えると、古い測定ファイルから順次削除しながら、新しいデータを蓄えます(ローテーション方式)。

コンピュータ上のデータの閲覧
本器の内部メモリをリムーバブルディスクとしてコンピュータと接続した場合、内部メモリ内の測定データをコンピュータ上で閲覧できます。
測定生データは累積値で、個数濃度換算なしです。
SDメモリカードへのデータのコピー
本器の内部メモリに保存されたデータは挿入したSDメモリカード(別売)に一括してコピーできます。

プリンタ

プリンタとの接続
本器側面のUSB端子と別売プリンタのUSB端子を下図のように接続します。



重 要
プリンタと同時にシリアルインタフェース、多点システム用インタフェースを使用することはできません。
プリンタ使用后、すぐにコンピュータとの通信の接続を切り替えないでください。USB端子が故障する可能性があります。
プリンタ本体の設定を16ドットフォントに変更してください(プリンタのDIP-SW2の設定を“11011111”と設定)。変更しないで使用する印字改行位置がずれて正しいフォームで印字されません。変更に関わる操作方はプリンタの取扱説明書を参照してください。

プリンタの詳細は取扱説明書の「プリンタ」の章の参照してください。

シリアルインタフェース

本器はUSB端子を使用してコンピュータとの通信が可能です。
詳細は取扱説明書の「シリアルインタフェース」の章を参照してください。

多点システムについて

本器は当社独自の多点システム用インタフェースを内蔵しており、このインタフェースを通してDATA LINK端子をもった当社製品と接続し、多点監視システムを構成できます。
詳細は取扱説明書の「多点システムについて」の章を参照してください。

保守

センサ内部の汚染防止について
センサ内部が汚染されると性能が劣化し修理が必要となる場合があります。ミスト、液滴、粗大粒子、繊維など、もしくは大量の粒子を含んだ気体を吸引すること、あるいはインレットキャップを取り外した状態での保管は避けてください。また、粒子個数濃度の高い空気を吸引させた後などには、センサ内部をクリーンな状態にするために、付属のゼロカウントフィルタを使用しパージを行うことをおすすめします。パージ方法については、取説13ページを参照してください。

消耗品の交換について
半導体レーザ、ポンプ、排気用フィルタ、バッテリーは消耗品です。消耗品の交換については販売店または当社サービス窓口(右下)までご連絡ください。

レーザの寿命検知について
レーザの出力レベルが規定内のうちにレーザ寿命が近くなると、その旨をタッチパネルディスプレイの[LASER]アイコンの緑点滅で表します。この表示発生後1ヶ月以内にレーザのメンテナンスをお勧めします。

バッテリーの寿命について
内蔵バッテリー充電を繰り返すと1回の使用時間が次第に短くなります。1回の使用時間がお買い上げ時の半分程度になったら、バッテリーの寿命です。バッテリーの交換はお客様が行うことはできません。販売店または当社サービス窓口(右下)までご連絡ください。

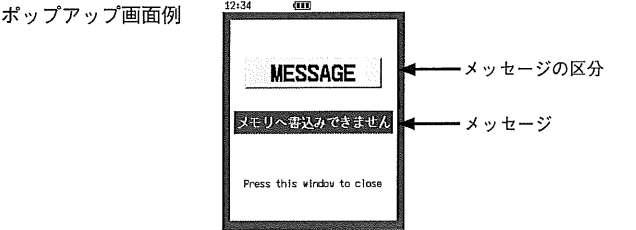
点検・校正について
正確な測定のためにも、年に1度、定期的な点検・校正をお勧めします。点検・校正については、販売店または当社サービス窓口(右下)までお問い合わせください。

機器の輸送について
点検修理で送る場合など、本器を輸送するときは、必ず元の梱包材を使用してください。また、本器はリチウムイオン電池を1組内蔵しています。本器の返却時にはお客様の責任において法規制に従った発送をお願いします。

本体部のクリーニング
● 本体部をクリーニングする場合は、中性洗剤をしみこませた柔らかい布を用いて行ってください。印刷、塗装、目印などを消さないよう注意してください。
● 本体部の印刷、塗装、目印などは、機器の安全な操作のために重要な情報を含んでおり、それらが消失すると、重大な事故が発生する可能性があります。

トラブルシューティング

ポップアップ画面について
エラーメッセージなどのメッセージはポップアップ画面(通常の画面の上に重なるように表示される画面)に表示されます。



ノート
ポップアップ画面に“Press this window to close.”と表示されている場合は、ポップアップ画面を押すか、任意のボタンを押した時点でポップアップアイコンとして、画面右上に表示されます。
ポップアップ画面は、一度閉じても、ポップアップアイコンを押すことで再表示させることができます。

トラブル一覧
トラブルの具体的な解決方法は取扱説明書の「トラブルシューティング」の章を参照してください。

	メッセージの区分	トラブル内容
一般的なトラブル	—	本器が作動しない。
	MESSAGE	“日時を設定してください”というメッセージが起動時に表示される。
	MESSAGE	“処理中”というメッセージが表示される。
	MESSAGE	“設定値が初期化されました”というメッセージが起動時に表示される。
	—	ステータスエリアの[COUNT]アイコンが赤点滅している。
	—	タッチパネルディスプレイの表示が暗い。
回路のトラブル	—	ステータスエリアの[REMOTE]アイコンが点灯し、STARTボタンを受け付けない。
	PROTECTED	“ブートエラー”というメッセージが表示される。
	PROTECTED	“測定継続不能”というメッセージが表示される。
流量制御のトラブル	—	画面が青くなる。
	—	ステータスエリアの[FLOW]アイコンが緑点滅している。
	WARNING	“流量エラー”というメッセージが表示され、ステータスエリアの[FLOW]アイコンが赤点滅している。
光源のトラブル	PROTECTED	“ポンプ異常”というメッセージが表示される。
	MESSAGE	“校正が行われていません”というメッセージが表示される。
	WARNING	“光源出力異常”というメッセージが表示され、ステータスエリアの[LASER]アイコンが赤点滅している。
	—	ステータスエリアの[LASER]アイコンが緑点滅している。
	—	ステータスエリアの[LASER]アイコンが消灯している。
外部メモリのトラブル	MESSAGE	“メモリが見つかりません”というメッセージが表示される。
	MESSAGE	“メモリの空きがありません”というメッセージが表示される。
	MESSAGE	“メモリへ書き込みできません”というメッセージが表示される。
	MESSAGE	“DATA FORMAT ERROR”というメッセージが表示される。
内部メモリのトラブル	MESSAGE	SDメモリカードを挿入していない状態で、“メモリの空きがありません”というメッセージが表示される。
	MESSAGE	SDメモリカードを挿入していない状態で、“メモリへ書き込みできません”というメッセージが表示される。
	MESSAGE	SDメモリカードを挿入していない状態で、“メモリが見つかりません”というメッセージが表示される。
バッテリーのトラブル	MESSAGE	“電池残量低下”というメッセージが表示される。
	—	充電状態表示LEDが赤点灯している。
USBのトラブル	—	[I/O]の設定をRemovable Disk、Serialに切り替えても使用できない。
	—	接続したプリンタに印字できない。

本簡易取扱説明書中の会社名、商品名は一般に各社の登録商標または商標です。

リオン株式会社 本社／営業部 東京都国分寺市東元町3丁目20番41号 〒185-8533 TEL：(042)359-7878(代表) FAX：(042)359-7458
九州リオン株式会社 福岡市博多区店屋町5-22 朝日生命福岡第2ビル 〒812-0025 TEL：(092)281-5366 FAX：(092)291-2847
サービス窓口 リオンサービスセンター株式会社 東京都八王子市市兵衛2丁目22番2号 〒192-0918 TEL：(042)632-1123 FAX：(042)632-1141